

# NF $\kappa$ Bと慢性炎症

NF  $\kappa$  Bの過度の活性化は炎症反応を進展させる。

活性化されたNF  $\kappa$  Bは炎症性メディエーターを産生し、それがさらにNF  $\kappa$  Bを活性化して炎症は拡大、進展する。

- 1、NF  $\kappa$  Bが活性化されると炎症性サイトカインやPGE<sub>2</sub>などの炎症性メディエーターが産生される。
- 2、NF  $\kappa$  Bが活性化されると活性酸素を生成するキサンチンオキシダーゼを生成する。  
→ O<sub>2</sub><sup>-</sup>・H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>を産生する(酸化ストレス)
- 3、NF  $\kappa$  Bが活性化されるとNOを産生するNO合成酵素を生成する。  
→ NO産生(酸化ストレス)
- 4、NF  $\kappa$  Bが活性化されると、COX-2を介してアラキドン酸からPGE<sub>2</sub>が産生される。  
このPGE<sub>2</sub>は痛みの域値の低下を来たす。
- 5、これらのPGE<sub>2</sub>、O<sub>2</sub><sup>-</sup>、H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>、NOは酸化ストレスとしてNF  $\kappa$  Bをさらに活性化して炎症は拡大、進展する。